

令和7年8月吉日

各位

新潟大学 森 貴教

新潟県長岡市上桐字椿沢地内 発掘調査のご案内

拝啓

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本学における教育・研究活動に深い御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新潟大学の教員および学生を中心に組織しております島崎川流域遺跡調査団（代表・森）では、2019年度から長岡市上桐地区に所在する弥生時代の遺跡の調査・研究に取り組んでいます。2022年度に実施した赤坂遺跡第2次調査では、上端幅約7.3m、深さ約3.6mを測る断面「V」字形の溝を発見しました。昨年度までの調査で、この溝は東西約40m以上の範囲にわたってのびており、弥生時代後期の集落を取り囲む「環壕」であったことが明らかになりました。また、ドローン搭載のレーザースキャナをもちいた地形測量で、山林中の上桐字椿沢地内で盛土状の地形が新たに確認されました。

今年度は下記のとおり、この地形が古墳（埋蔵文化財）かどうかを確認することをおもな目的として、盛土および周辺の測量調査と3箇所の特レンチの発掘調査をおこないたいと思います。時節柄、お忙しいことと存じますが、御来跡の上、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査地 椿沢古墳（仮称）（新潟県長岡市上桐字椿沢）
2. 調査目的 島崎川流域における弥生時代集落遺跡の性格、大規模な環壕をともなう「高地性集落」である赤坂遺跡の廃絶後（古墳時代以降）の土地利用解明
3. 調査内容 トレンチ発掘調査（計3箇所を予定）、地形の測量調査
4. 調査主体 島崎川流域遺跡調査団
5. 調査組織 担当者：新潟大学人文学部・准教授 森 貴教
調査員：新潟大学人文学部 学生 計11名
（令和7年度新潟大学授業科目「考古学実習C・D」の一環）
6. 調査期間 2025（令和7）年9月15日（月・祝）～9月28日（日）（予定）
7. 連絡先 新潟大学五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A405
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050
TEL：025-262-6457（森研究室）、E-mail：tmori@human.niigata-u.ac.jp
8. 調査時連絡先 070-4451-5837（森携帯電話）

*調査日程は急遽変更となる可能性があります。調査地は私有地であり、また分かりにくい山中の場所です。現場にお越しの際は事前にご連絡頂けましたら幸いです。

以上

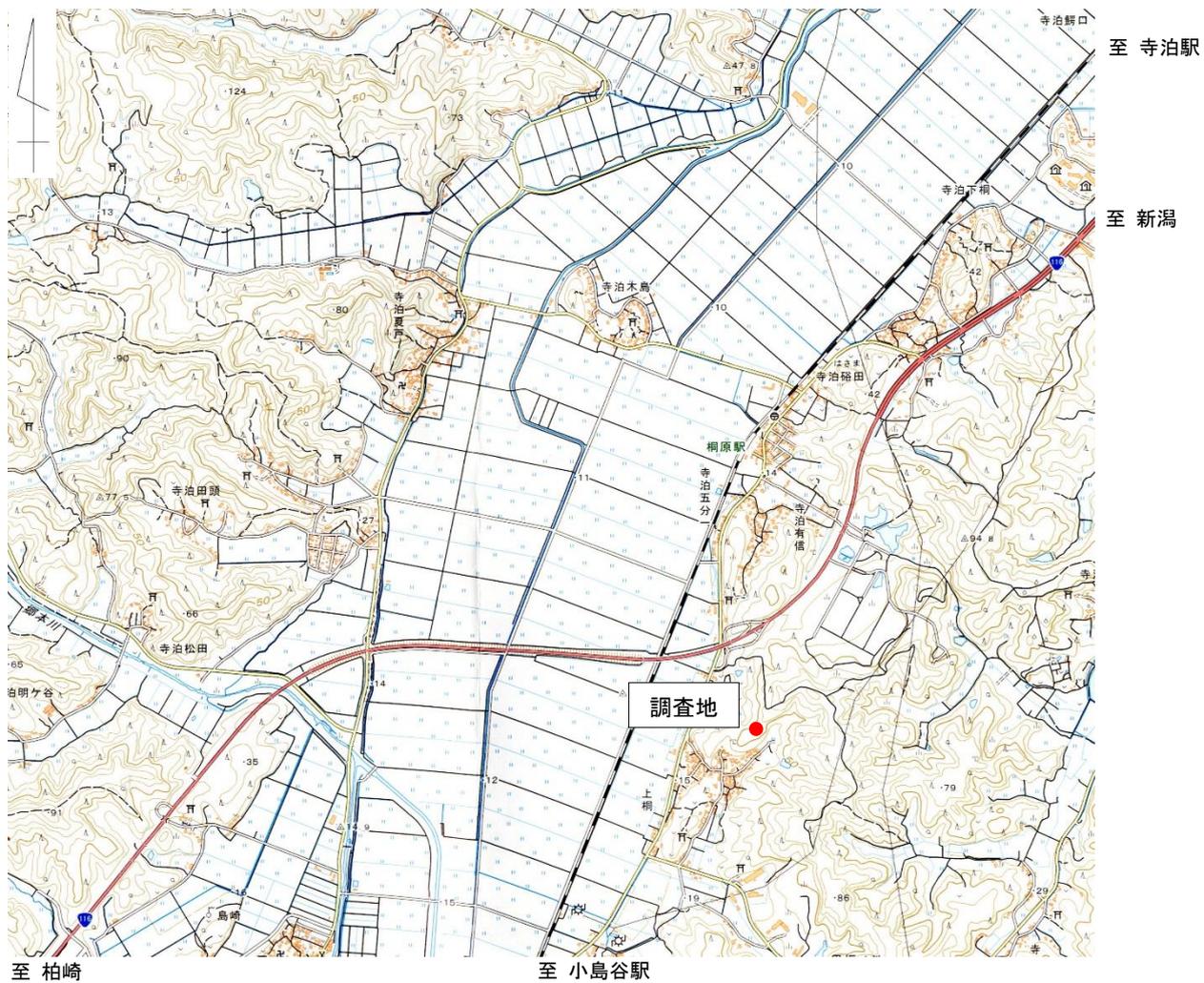


図1 調査地周辺の地図（国土地理院発行2万5千分の1地形図〔寺泊〕を利用）